

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月16日

上場会社名 株式会社あかつき本社 上場取引所 東
 コード番号 8737 URL <https://www.akatsuki-fg.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島根 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 宮田 康博 TEL 03-6821-0606
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	48,548	17.4	17,945	8.3	4,337	49.3	4,109	63.3	2,546	58.0
2025年3月期第3四半期	41,346	—	16,570	—	2,905	—	2,517	△12.4	1,611	△15.1

(参考) 税金等調整前当期純利益 2026年3月期第3四半期 4,110百万円 (63.4%) 2025年3月期第3四半期 2,514百万円 (△11.6%)

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,752百万円 (70.7%) 2025年3月期第3四半期 1,612百万円 (△18.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	84.14	—
2025年3月期第3四半期	52.98	—

(注) 2025年3月期第3四半期の対前年同期増減率は、表示方法の変更に伴い表示の組替えが行われたため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 115,282	百万円 20,169	% 16.9	円 銭 643.60
2025年3月期	92,035	18,853	19.4	590.21

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 19,480百万円 2025年3月期 17,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 —	円 銭 17.00	円 銭 28.00
2026年3月期	—	12.50	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	17.50	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

配当予想の修正に関しては、本日(2026年2月16日)公表しました「2026年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 66,000	% 16.8	百万円 5,700	% 53.0	百万円 5,600	% 44.0	百万円 3,400	% 29.2	円 銭 112.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※参考情報として「税金等調整前当期純利益連結業績予想」も開示します。

税金等調整前当期純利益: 5,600百万円 (対前期増減率: 44.7%)

連結業績予想の修正に関しては、本日(2026年2月16日)公表しました「2026年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

2026年3月期 3Q	34,029,544株	2025年3月期	34,029,544株
2026年3月期 3Q	3,761,558株	2025年3月期	3,761,483株
2026年3月期 3Q	30,268,031株	2025年3月期 3Q	30,425,939株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、BBT信託口が所有しております当社株式を含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日から2025年12月31日まで)において、当社グループは各セグメントにおいて以下のような取り組みを行いました。

① 証券関連事業

あかつき証券㈱では、コアビジネスである金融商品仲介ビジネス（以下、「IFAビジネス」と言います。）の拡大、及び金融機関等とのアライアンスの強化を戦略的に推進しました。

IFAビジネスでは、契約仲介業者による顧客サポートの充実に貢献すべく、強みとする対面サポート体制の強化に加え、システム面での利便性向上や商品ラインナップの拡充などを進めています。対面サポート体制については、オペレーターによる米国株式の電話受注時間を20時まで延長し、米国株式取引の強化を進めました。システム面においては、外国債券取引に関する必要書面交付の電子化対応を進め、IFAポータルサイトにはAIチャットの導入や営業支援コンテンツの大幅な拡充に取り組みました。また、サイバーリスクの高まりに対応すべく、クラウドで提供する全てのシステムについて脆弱性診断と診断結果に基づく改修を実施し、セキュリティの強化を図りました。商品面では、新NISA制度の対象銘柄を中心に国内投資信託の取扱本数を830銘柄まで増加させ、併せて外国投資信託の取扱いを拡充したほか、外国債券についても最低券面未満取引の対象銘柄を拡充し、顧客の投資機会の拡大に努めました。加えて、2025年11月より「預かり資産残高連動手数料コース（愛称：チョイス！）」を拡大リニューアルし、顧客の投資目的や運用スタイルに合わせて手数料コースを選択できるようサービスの向上を図りました。

金融機関とのアライアンスについては、従来より国内株式の取次等を行う母店取引などで関係を深めていた㈱しん証券さかもと（本店所在地：石川県金沢市）の普通株式を、2025年4月に追加取得し持分法適用会社（議決権所有割合33.7%）としました。また、同月に子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ㈱（金融商品仲介業者）（以下「JWA」という。）において、同業者の㈱Innovation IFA Consultingの委任型IFA部門を吸収分割により取得しました。さらに地域金融機関においては、2025年10月に愛知信用金庫と業務提携を行うなど、新たなアライアンス先の開拓と既存提携先とのリレーション強化に努めています。

結果として2025年12月末のJWAの提携金融機関における管理資産残高を含めた預り資産残高は、7,967億円（2025年3月末比1,706億円増）、IFA部門の預り資産残高は5,138億円（同1,135億円増）と拡大しました。

業績面では、仕組債の非勧誘等、商品内容の見直もあり、営業収益は前年同期で微減となりました。セグメント利益は顧客サービス向上のためのシステム投資や管理態勢強化に伴う人員増加により固定費が増加したものの、IFAへの支払報酬など収益に連動する変動費が減少したことにより、増益となりました。

(証券関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
営業収益	12,118	11,749	△3.0%
セグメント利益	1,586	1,652	4.2%

② 不動産関連事業

中古マンションの買取再販を行う㈱マイプレイスは、営業人員の拡大と仲介会社との連携強化を通じ、首都圏エリア（東京・神奈川・千葉・埼玉）及び近畿圏エリア（大阪・兵庫・京都）における取引拡大に努めています。当第3四半期連結累計期間においては、仕入戸数は657戸（前年同期は607戸）、販売戸数は622戸（同655戸）の取引実績となりました。また、リノベーションの設計・施工を手掛ける㈱バウテックグループにおいては、完工数が816戸（前年同期は826戸）とほぼ安定した水準で推移しました。

高齢者施設開発を手掛けるEWアセットマネジメント㈱において、2025年4月に福岡県福岡市に「メディケア癒やし五番館長住」がオープンしました。また、2025年9月には、熊本県熊本市の「メディケア癒やし花園」が売却されました。これにより、2025年12月末現在の稼働中施設は3件となります。

業績面では、中古マンションの好調な市場環境を背景に、都心物件を中心に販売単価が上昇し利益率が向上したことに加え、高齢者施設の売却が寄与し、増収・増益となりました。

(不動産関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
営業収益	29,426	36,984	25.7%
セグメント利益	2,002	3,366	68.1%

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。
前期に計上した一過性の投資組合事業運用益と高齢者施設の売却益を除くと増益となりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
営業収益	41,346	48,548	17.4%
営業利益	2,905	4,337	49.3%
経常利益	2,517	4,109	63.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,611	2,546	58.0%

(補足情報)

I. あかつき証券(株)、ジャパンウェルスアドバイザーズ(株)

あかつき証券(株)は、リテール営業に加え、戦略的にIFAビジネスの強化、地域金融機関との提携、AI・フィンテックを活用したアドバイス力の強化を進めています。中でも2014年から本格参入しているIFAビジネスは拡大傾向にあります。なお、以下はあかつき証券(株)に同社子会社であるジャパンウェルスアドバイザーズ(株)を連結した補足情報です。

(a) 経営成績 (四半期会計期間毎)

(単位：百万円)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
営業収益	4,208	3,618	4,279	3,935	3,107	4,098	4,475	—
営業利益	609	397	574	527	343	574	677	—
経常利益	616	397	560	539	345	587	762	—
当期純利益	413	366	378	445	217	409	528	—

(b) 預り資産

(単位：百万円)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
預り資産	612,178	589,795	649,075	626,085	678,991	748,067	796,784	—
(うちIFA)	360,222	359,279	409,080	400,293	438,271	480,521	513,830	—

(注) 1 あかつき証券(株)とジャパンウェルスアドバイザーズ(株)の提携金融機関における管理資産残高の合計です。

2 2025年10月より、一部顧客の預り資産の区分をウェルスマネジメント部門から金融商品仲介サービス部門に変更しました。当該変更に従い、2025年10月以前の数値も遡及して変更しています。

II. (株)マイプレイス、(株)パウテックグループ、(株)マイプランナー

(株)マイプレイスは、東京都及び神奈川県を中心とした首都圏及び大阪府を中心とした近畿圏において、住宅一次取得者層向けの中古マンション事業を行っています。①賃借人なしの空室中古マンションを購入後、直ちにリノベーションを行い売却するケース(以下「タイプA」といいます。)と、②賃借人付の中古マンションを購入後、一定期間は賃料収入を得て、賃借人の退去後にリノベーションを行い売却するケース(以下「タイプB」といいます。)があります。また、(株)パウテックグループは、(株)マイプレイス及び外部の買取再販事業者向けにリノベーションの設計・施工サービスを提供しています。なお、以下は(株)マイプレイス、(株)パウテックグループ及び(株)マイプランナーを連結した補足情報であり、3社間の内部取引を消去したものです。

(a) 経営成績 (四半期会計期間毎)

(単位：百万円)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
売上高	7,954	9,944	10,955	11,458	9,616	10,073	14,451	—
営業利益	570	760	894	933	801	786	1,376	—
経常利益	493	679	804	995	696	903	1,246	—
当期純利益	331	462	768	523	468	627	841	—

(b) 中古マンションの仕入状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。) (単位：戸)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
タイプA	198 (+64)	200 (+29)	170 (△32)	147 (△44)	195 (△3)	192 (△8)	194 (+24)	—
タイプB	6 (△9)	18 (△2)	15 (+6)	23 (+0)	35 (+29)	12 (△6)	29 (+14)	—
合計	204 (+55)	218 (+27)	185 (△26)	170 (△44)	230 (+26)	204 (△14)	223 (+38)	—

(c) 中古マンションの販売状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。) (単位：戸)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
販売戸数	183 (+49)	228 (+41)	244 (+31)	249 (+55)	202 (+19)	177 (△51)	243 (△1)	—

(d) 中古マンションの在庫状況 (四半期会計期間末)

(単位：戸)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
タイプA	503	508	452	373	392	430	405	—
タイプB	401	386	383	383	392	381	386	—
合計	904	894	835	756	784	811	791	—

(e) (株)パウテックグループによるリノベーション完工数 (四半期会計期間毎)

(単位：戸)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
(株)マイプレイス向け	218	204	226	161	185	203	213	—
外販	49	69	60	68	67	69	79	—
合計	267	273	286	229	252	272	292	—

(注) 外販とは、外部の買取再販業者向けの設計・施工サービスです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ23,246百万円増加し、115,282百万円となりました。これは主に、預託金が10,200百万円、販売用不動産が4,433百万円、現金及び預金が6,115百万円、差入保証金が2,826百万円増加し、約定見返勘定が368百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ21,930百万円増加し、95,112百万円となりました。これは主に、預り金が17,052百万円、信用取引借入金が547百万円、短期借入金が1,525百万円、1年内返済予定の長期借入金が2,456百万円増加し、ノンリコース長期借入金が512百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,316百万円増加し、20,169百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想及び配当予想については、2025年5月15日付「2025年3月期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想及び配当予想をそれぞれ修正しています。詳細につきましては、本日（2026年2月16日）公表の「2026年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	19,451,338	25,567,045
預託金	23,800,000	34,000,000
トレーディング商品	298,829	374,665
約定見返勘定	936,083	567,631
信用取引資産	4,682,253	4,833,559
信用取引貸付金	4,471,447	4,615,397
信用取引借証券担保金	210,805	218,161
差入保証金	1,471,278	4,297,835
販売用不動産	31,338,764	35,771,949
その他	2,895,517	2,923,566
流动資産計	84,874,066	108,336,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	573,043	538,030
土地	265,158	265,158
建設仮勘定	—	14,893
その他	155,006	161,751
有形固定資産合計	993,208	979,833
無形固定資産		
のれん	699,494	555,736
その他	415,253	427,197
無形固定資産合計	1,114,747	982,933
投資その他の資産		
投資有価証券	3,772,268	4,028,459
その他	1,472,195	1,129,971
貸倒引当金	△190,906	△175,310
投資その他の資産合計	5,053,557	4,983,121
固定資産計	7,161,514	6,945,888
資産合計	92,035,580	115,282,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	—	52,520
信用取引負債	1,157,778	1,934,448
信用取引借入金	873,162	1,420,849
信用取引貸証券受入金	284,616	513,599
預り金	22,479,406	39,532,296
受入保証金	800,111	974,871
短期社債	7,000,000	7,000,000
短期借入金	22,078,504	23,604,421
1年内返済予定の長期借入金	3,140,522	5,596,783
ノンリコース1年内返済予定長期借入金	60,000	50,000
未払法人税等	703,997	678,448
その他	3,145,272	3,417,190
流動負債計	60,565,593	82,840,979
固定負債		
長期借入金	7,373,740	7,237,410
ノンリコース長期借入金	2,920,000	2,407,500
退職給付に係る負債	215,566	228,798
役員株式給付引当金	1,236,674	1,454,267
その他	815,415	888,135
固定負債計	12,561,396	12,216,111
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	55,496	55,505
特別法上の準備金計	55,496	55,505
負債合計	73,182,486	95,112,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,665,452	5,665,452
資本剰余金	3,149,181	3,171,751
利益剰余金	10,491,955	12,075,658
自己株式	△1,495,689	△1,518,298
株主資本合計	17,810,899	19,394,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,542	85,906
その他の包括利益累計額合計	53,542	85,906
新株予約権	9,529	9,529
非支配株主持分	979,122	679,547
純資産合計	18,853,094	20,169,546
負債・純資産合計	92,035,580	115,282,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益		
受入手数料	4,771,990	6,161,752
トレーディング損益	6,712,667	4,844,133
金融収益	435,719	559,125
不動産事業売上高	29,425,725	36,983,795
営業収益計	41,346,102	48,548,807
金融費用	53,352	97,141
売上原価		
不動産事業売上原価	24,722,531	30,506,065
売上原価合計	24,722,531	30,506,065
純営業収益	16,570,219	17,945,600
販売費及び一般管理費		
取引関係費	6,548,678	5,626,894
人件費	3,793,524	4,301,661
不動産関係費	313,338	324,343
事務費	616,622	676,115
減価償却費	125,903	136,811
租税公課	359,012	461,419
販売手数料	671,667	815,439
のれん償却額	161,421	163,754
その他	1,074,177	1,101,766
販売費及び一般管理費合計	13,664,348	13,608,206
営業利益	2,905,871	4,337,393
営業外収益		
受取利息	35,984	25,032
受取配当金	45,269	65,819
投資事業組合運用益	1,925	177,385
不動産取得税還付金	61,804	84,579
その他	41,199	81,602
営業外収益合計	186,182	434,418
営業外費用		
支払利息	385,014	500,871
支払手数料	139,798	141,981
その他	50,045	19,360
営業外費用合計	574,858	662,212
経常利益	2,517,195	4,109,598
特別利益		
固定資産売却益	2,849	504
特別利益合計	2,849	504
特別損失		
固定資産除却損	486	—
金融商品取引責任準備金繰入れ	4,584	8
特別損失合計	5,071	8
税金等調整前四半期純利益	2,514,973	4,110,094
法人税、住民税及び事業税	852,437	1,346,913
法人税等調整額	43,150	42,558
法人税等合計	895,588	1,389,471
四半期純利益	1,619,384	2,720,622
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,462	173,973
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,611,922	2,546,649

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,619,384	2,720,622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,881	32,363
その他の包括利益合計	△6,881	32,363
四半期包括利益	1,612,502	2,752,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,605,040	2,579,012
非支配株主に係る四半期包括利益	7,462	173,973

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

持分法適用の範囲の重要な変更

㈱しん証券さかもとの株式を追加取得したため、第1四半期連結会計期間より同社を持分法適用の範囲に含めています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	147,826千円	152,551千円
のれん償却額	161,421	163,754

(追加情報)

(表示方法の変更)

当社子会社であるあかつき証券㈱は外貨建て預金の運用収益を、従来、「営業外収益」の「受取利息」で表示していましたが、第1四半期連結会計期間より、「営業収益」の「金融収益」で表示することとしました。

これは、あかつき証券㈱が外国株式及び外国債券など外貨建て金融商品の取引拡大を進める中で、当該取引と関連性の高い外貨建て預金の運用収益について、その性質を、より適切に連結財務諸表へ反映させるために見直しを行ったことから、表示方法の変更を実施したものです。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取利息」に表示していた330,179千円を「営業収益」の「金融収益」に組み替え、「営業収益」、「純営業収益」、「営業利益」がそれぞれ330,179千円増加し、「営業外収益」が330,179千円減少しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	11,920,377	29,425,725	41,346,102	—	41,346,102
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	197,770	960	198,730	△198,730	—
計	12,118,147	29,426,685	41,544,833	△198,730	41,346,102
セグメント利益	1,586,016	2,002,392	3,588,409	△682,538	2,905,871

(注) 1. セグメント利益の調整額△682,538千円には、セグメント間取引消去△197,770千円、全社費用△484,768千円が含まれています。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	11,565,011	36,983,795	48,548,807	—	48,548,807
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	184,530	960	185,490	△185,490	—
計	11,749,541	36,984,755	48,734,297	△185,490	48,548,807
セグメント利益	1,652,433	3,366,245	5,018,679	△681,285	4,337,393

(注) 1. セグメント利益の調整額△681,285千円には、セグメント間取引消去△184,530千円、全社費用△496,755千円が含まれています。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。